

毎年この時期は河川、海などで水難事故が多発します。警察庁の発表によると2019年の水難の発生件数は1298件で、水難者は1538人、死者・行方不明者は695人を数えました。水難

者のうち中学生以下が19

0人で、このうち未就学児童は54人、小学生は104人、中学生32人でした。死者・行方不明者は30人に上りました。子どもの死者・行方不明者のうち、場所別では河川が最も多く、

## 水難事故を防ごう

行為別では水遊びが最多でした。子どもたちを水難事故に遭わせないためには、①危険個所をチェックする。危ない場所へは近づかないように注意する。②天候などを的確に判断する。河

川の急な増水や体調が悪い時には水遊びをさせ

ない。③保護者などが付き添う。子ども一人では遊ばせないことや必ずライフジャケットを着用させる——など。

大人の見守りが大切です。

防犯一口メモ